

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2020-33981 (P2020-33981A)

【公開日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-009

【出願番号】特願 2018-163426 (P2018-163426)

【国際特許分類】

F 0 4 B 39/00 (2006.01)

B 6 0 S 1/54 (2006.01)

B 6 0 S 1/60 (2006.01)

B 6 0 S 1/48 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 B 39/00 1 0 7 Z

B 6 0 S 1/54 Z

B 6 0 S 1/60 Z

F 0 4 B 39/00 1 0 3 K

B 6 0 S 1/48 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 9 】

コイルばね 4 0 は、ピストン 2 0 の主軸受 2 2 に挿入され、軸方向一方に向かう力をピストン 2 0 に付与する。詳細については後述するが、圧縮板 2 1 は、ピストン 2 0 の軸方向一方の端部であり、主軸受 2 2 は、ピストン 2 0 の軸方向他方の端部である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 6 】

図 1 2 は、減速機 3 4 の平面図である。図 1 2 を参照して、減速機 3 4 は、大歯車 3 4 1 と小歯車 3 4 2 とを含む。図 1 2 において、大歯車 3 4 1 に形成される歯を省略している。大歯車 3 4 1 の径は、小歯車 3 4 2 の径よりも大きい。大歯車 3 4 1 及び小歯車 3 4 2 は、同心軸上に配置され、互いに固定される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 7 】

副軸 6 0 の軸方向他方の端部は、側板部 1 2 1 により保持される。具体的には、図示しない凹部が、側板部 1 2 1 における軸方向一方の面に形成されている。副軸 6 0 の軸方向他方の端部は、この図示しない凹部に嵌め込まれることにより、蓋部 1 2 の側板部 1 2 1

により保持される。なお、副軸 6 0 の両端部の少なくとも一方が、筐体 1 0 に保持されていれはよい。